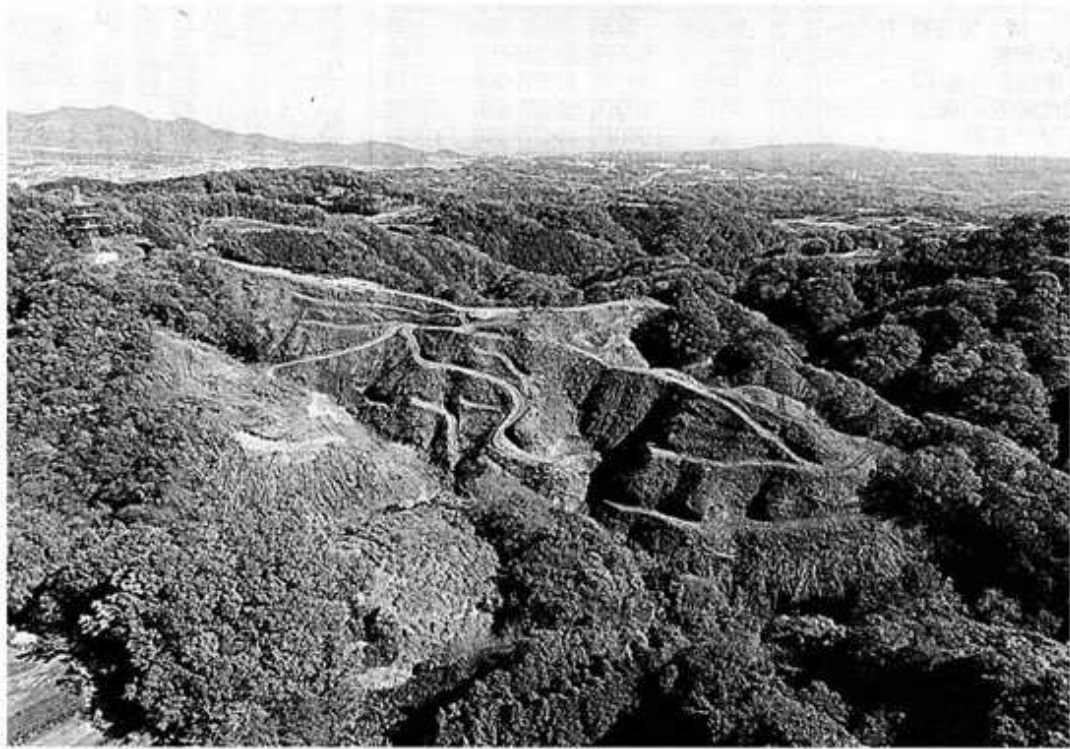


ノスリの繁殖地 無残...

秦野の大規模霊園開発現場

大規模な霊園開発が進む秦野市渋沢の八国見山南面区域の現場を、同市の映像作家で「ネイチャーシネプロ」代表の吉田嗣郎さんが上空150mから撮影した。撮影日は11月21日。現場周辺では同月17日「秦野の自然と環境を守る会」と合同で保護監視撮影班を結成し、2002年2〜7月、八国見山を含めた周辺地域でノスリの繁殖行動を延べ1200時間わたって追跡



周辺にノスリが生息する八国見山の霊園開発現場
11月21日撮影(吉田嗣郎さん提供)

映像作家・吉田さん撮影 破壊された森の現状訴える

らふ化、巣立ちまでの貴重な映像を記録した。「ノスリの繁殖期6ヶ月間の観察記録」と題した記録は、03年の日本野鳥の会神奈川支部研究年報に掲載された。県内ではノスリの生態に詳しい一人として知られる。

南面区域では尾根や谷筋の森が伐採され、露出した山肌に数本の工事用道路が造られた。県内でも良好な自然環境とされていた区域が開発で無残な姿をさらけ出した様子が、写真からもうかがえる。

開発状況を追跡している自然保護グループ「渋沢丘陵を考える会」メンバーの観察によると、ノスリは繁殖期の求愛やテリトリーを主張するディスプレイの行動を見せており、多い日はペア3組6羽が目撃された。今月に入ってから、周辺では少なくとも4羽のディスプレイが確認されている。同会メンバーは「事業者自らがディスプレイを確認して工事を中断すべきなのに、何の報告もない」と指摘している。

【高橋和夫】